

政策	61 農林業の振興						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	農林業者						
基本施策目的	農業生産基盤の充実、多様な担い手の育成・支援、特色ある農産物の生産・販売体制の強化などにより農業経営基盤の充実を図る 地域ブランドの育成、観光等との連携、体験型グリーンツーリズムの推進、安全・安心で新鮮な農産物の提供などにより特色ある農林業の展開を図る						
成果指標	認定農業者数（単位：人）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	480.00	490.00	500.00	510.00	530.00
		実績	466.00				
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	1,652,739		0	0	0	
	実績	1,570,205			0	0	
内部評価	貢献度	基本方針の目指す姿は産業としての農業を振興することであるため、本施策の農業担い手の育成はその目標達成に大きく貢献するものである。					
	達成状況	農業従事者の高齢化に起因し、本施策が掲げる認定農業者の目標数は未達となっており、下位単位施策目標も一部未達となっている。					
	課題	高齢により離農を希望する農家が持つ農地の効率的な活用支援と、規模拡大を目指す農家及び新規就農者に対し、販路拡大など魅力ある農業施策の展開が必要となっている。					
	取組方針	農地中間管理事業の積極的な取り組みによる農地集積率の向上と、農業者の所得増大に向けた新たな農産物販売ルートの開発を重点的に取り組んでいく。					
外部評価	施策目標の認定農業者数が目標値を下回り未達成となっている。 高齢化や担い手不足の課題解消に向けて、規模拡大を目指す担い手となる認定農業者の増加を図っていくことは重要であり、目標達成のための具体策を講じること。 特に認定農業者への農地集積を支援し、耕作放棄地の解消等の農地の有効利用を図っていくこと。また、農業への新規参入者や付加価値の高い農産物(農産物のブランド化)の支援を推進していくこと。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	6101	農業経営基盤の充実				1,181,180	99
	6102	特色ある農林業の展開				389,025	94